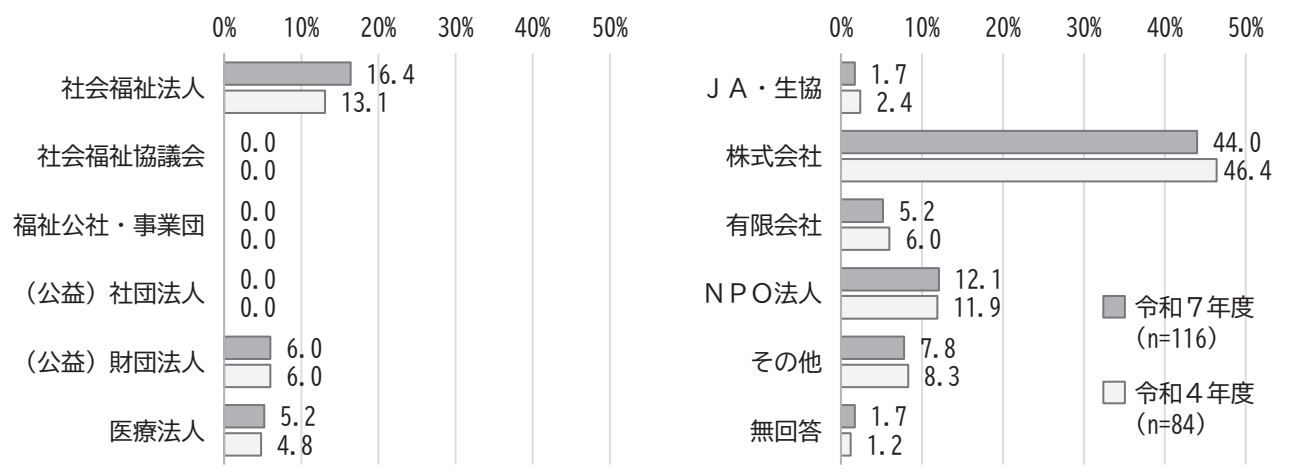


# 第5章 介護保険サービス提供事業者調査

## 1. 事業所について

問1 組織形態について教えてください。(単数回答)

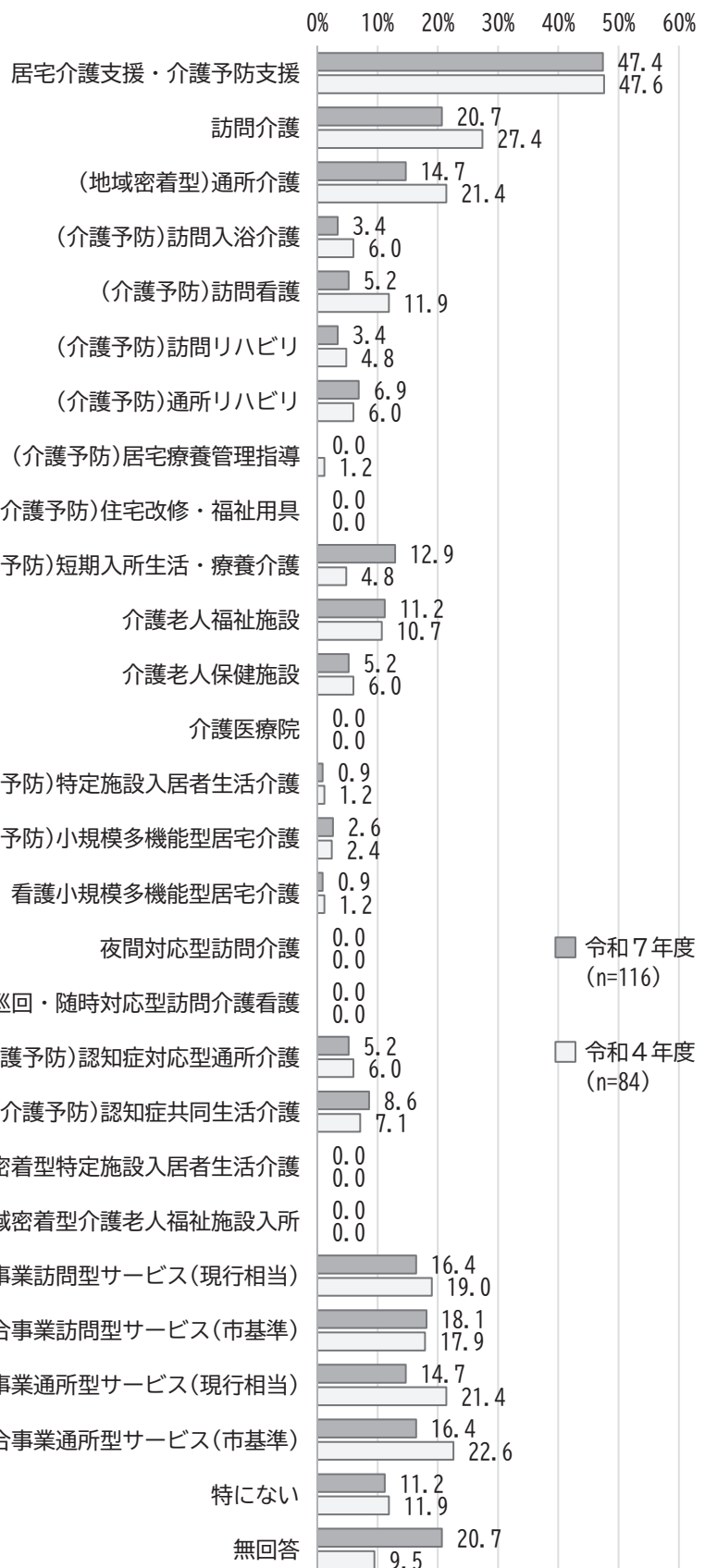
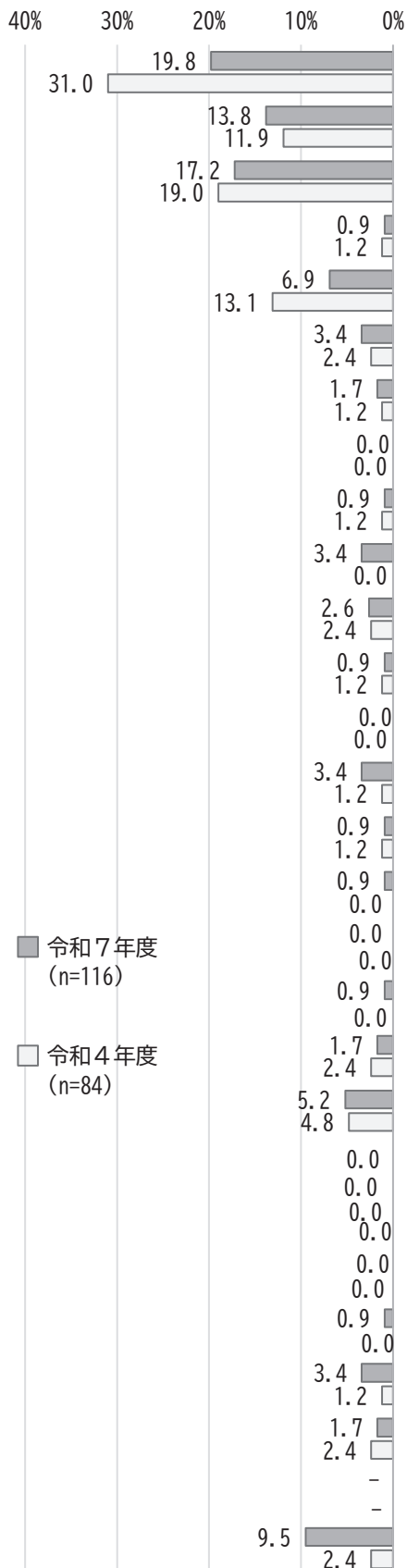
「株式会社」が44.0%で最も高く、次いで、「社会福祉法人」が16.4%、「NPO法人」が12.1%となっている。



問2 活動状況について教えてください。

① 貴事業所の種類 (単数回答)

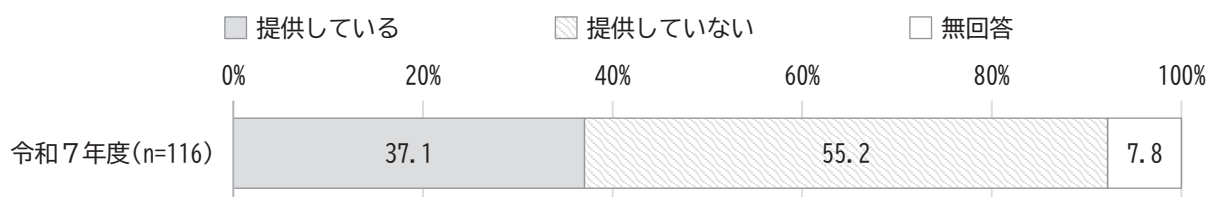
② 併設する事業所の種類 (複数回答)



## 2. 介護保険外サービスについて

問3 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。(単数回答)

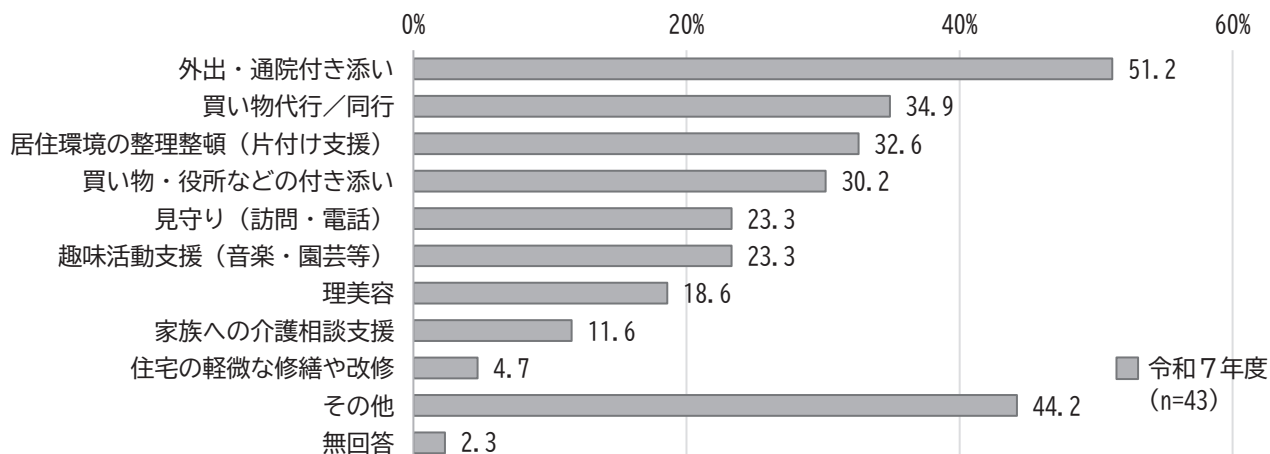
「提供していない」が55.2%で最も高く、次いで、「提供している」が37.1%となっている。



【問3で「提供している」と回答した事業所】

問3-1 具体的なサービス内容を記入してください。(複数回答)

「外出・通院付き添い」が51.2%で最も高く、次いで、「その他」が44.2%、「買い物代行／同行」が34.9%となっている。



問4 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(単数回答)

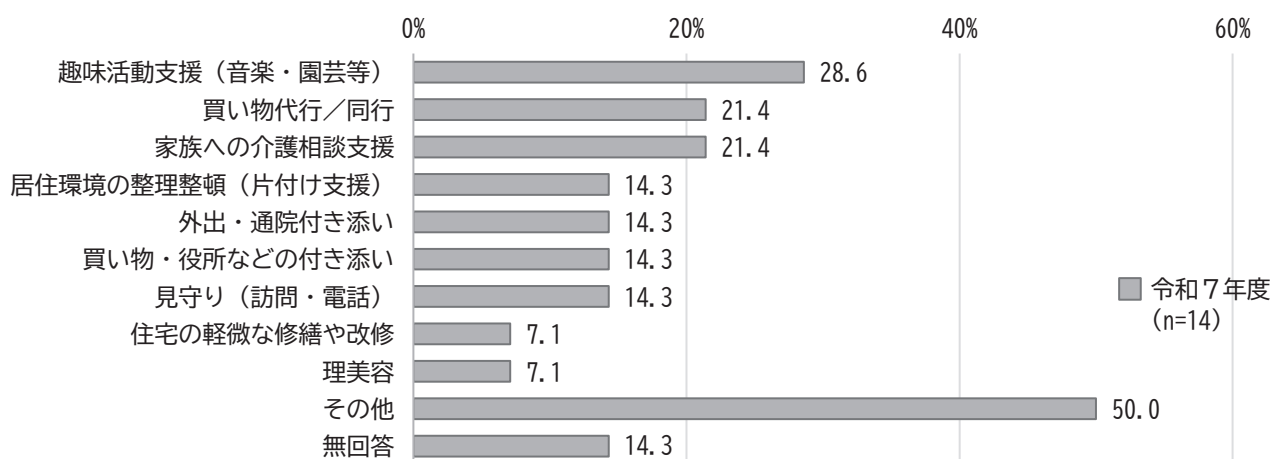
「ない」が56.0%で最も高く、次いで、「まだわからない」が25.0%、「検討中」が7.8%となっている。



【問4で「予定がある」「検討中」と回答した事業所】

問4-1 具体的なサービス内容を記入してください。(複数回答)

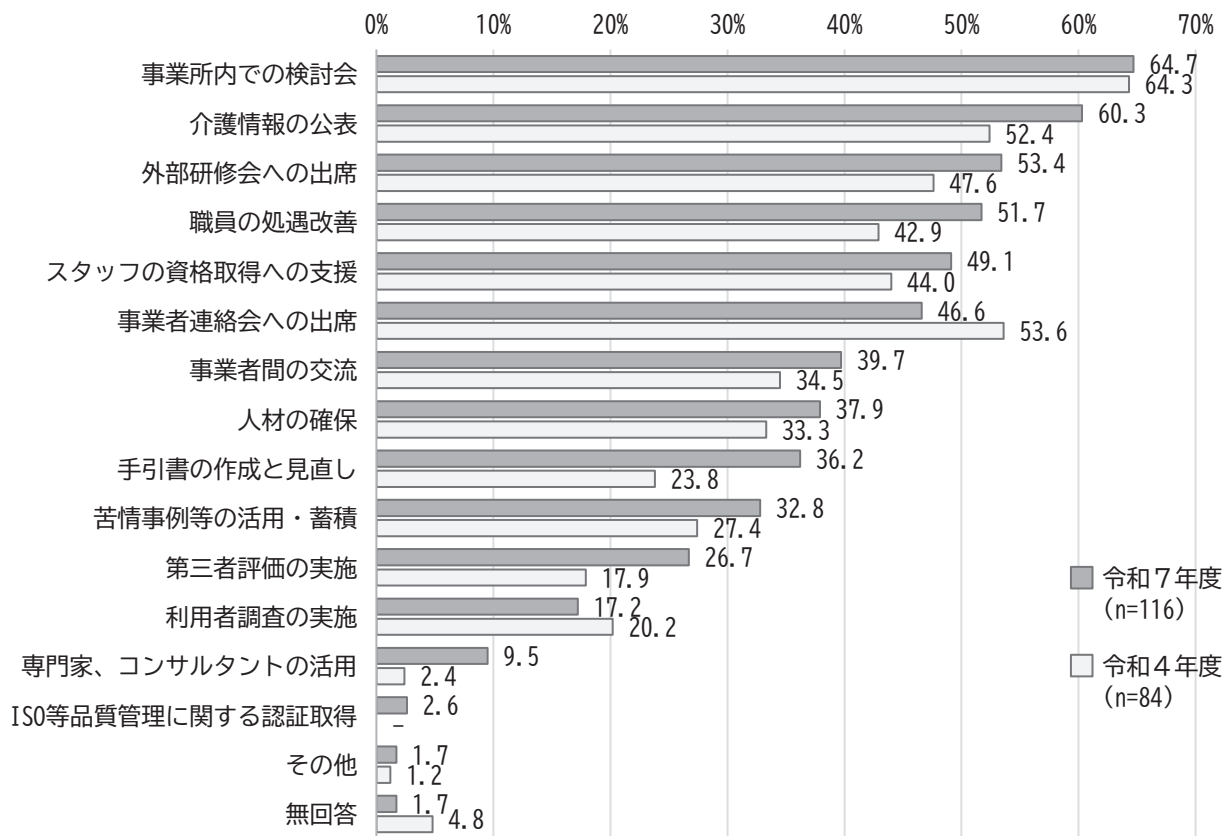
「その他」が50.0%で最も高く、次いで、「趣味活動支援（音楽・園芸等）」が28.6%、「買い物代行／同行」「家族への介護相談支援」が21.4%となっている。



### 3. サービス向上に向けた取組について

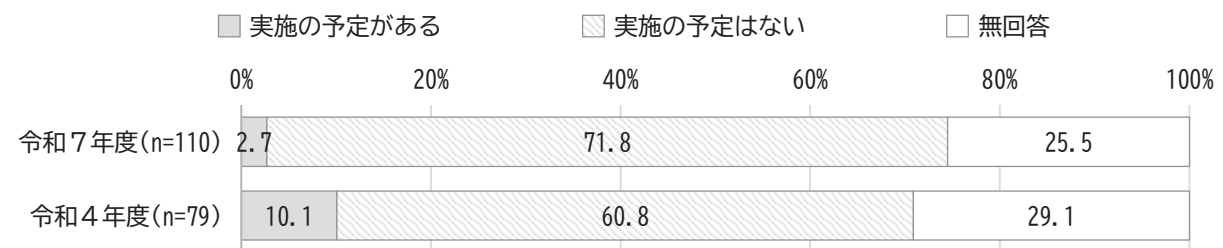
問5 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(複数回答)

「事業所内での検討会」が64.7%で最も高く、次いで、「介護情報の公表」が60.3%、「外部研修会への出席」が53.4%となっている。



【問5で「第三者評価の実施」を選択しなかった事業所】  
問5-1 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(単数回答)

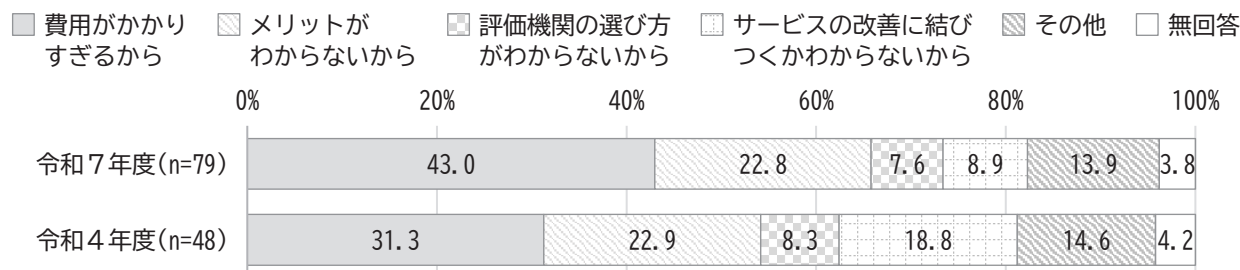
「実施の予定はない」が71.8%で最も高く、次いで、「実施の予定がある」が2.7%となっている。



【問 5-1 で「実施の予定はない」と回答した事業所】

問 5-2 その主な理由は次のうちどれですか。(単数回答)

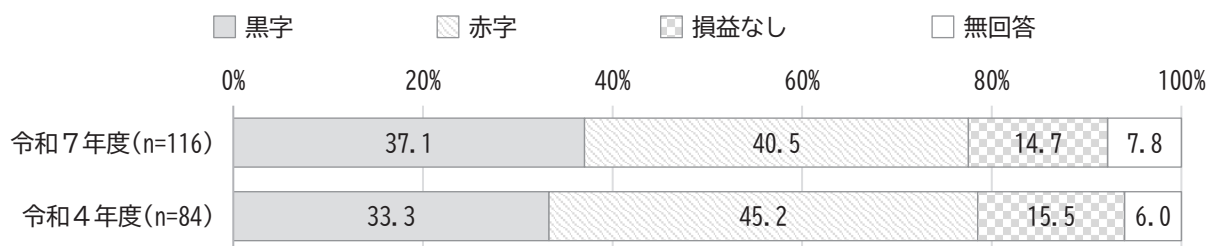
「費用がかかりすぎるから」が 43.0%で最も高く、次いで、「メリットがわからないから」が 22.8%、「その他」が 13.9%となっている。



#### 4. 事業運営について

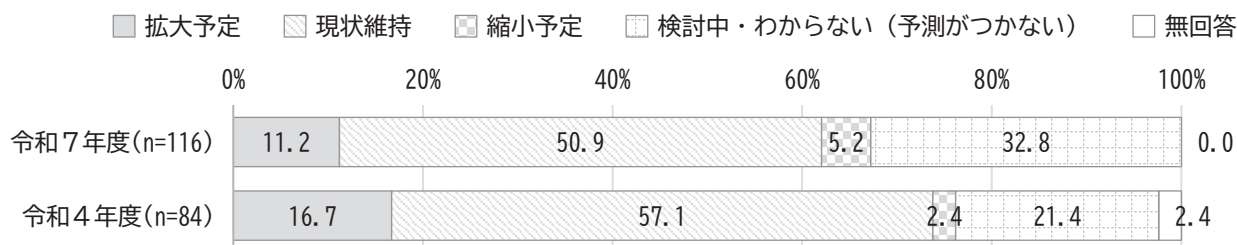
問 6 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(単数回答)

「赤字」が 40.5%で最も高く、次いで、「黒字」が 37.1%、「損益なし」が 14.7%となっている。



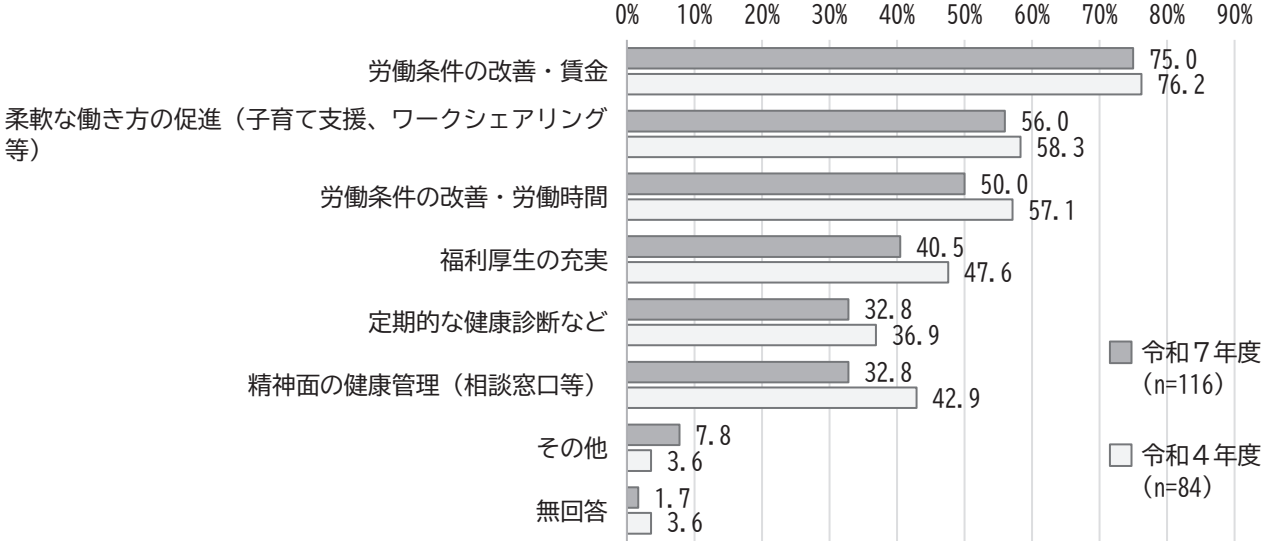
問 7 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。(単数回答)

「現状維持」が 50.9%で最も高く、次いで、「検討中・わからない(予測がつかない)」が 32.8%、「拡大予定」が 11.2%となっている。



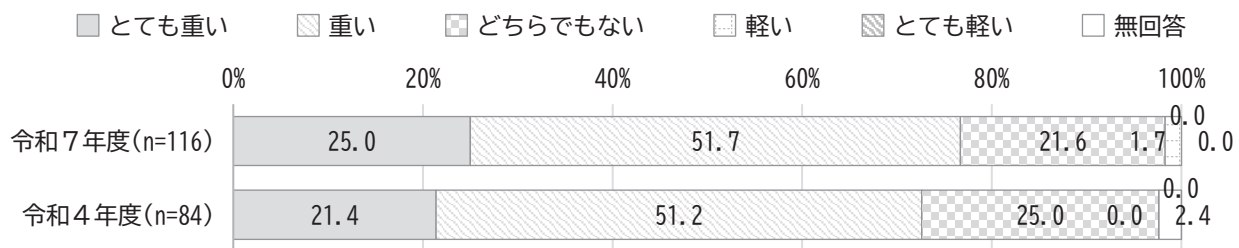
問8 労働環境整備のためにどのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「労働条件の改善・賃金」が75.0%で最も高く、次いで、「柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）」が56.0%、「労働条件の改善・労働時間」が50.0%となっている。



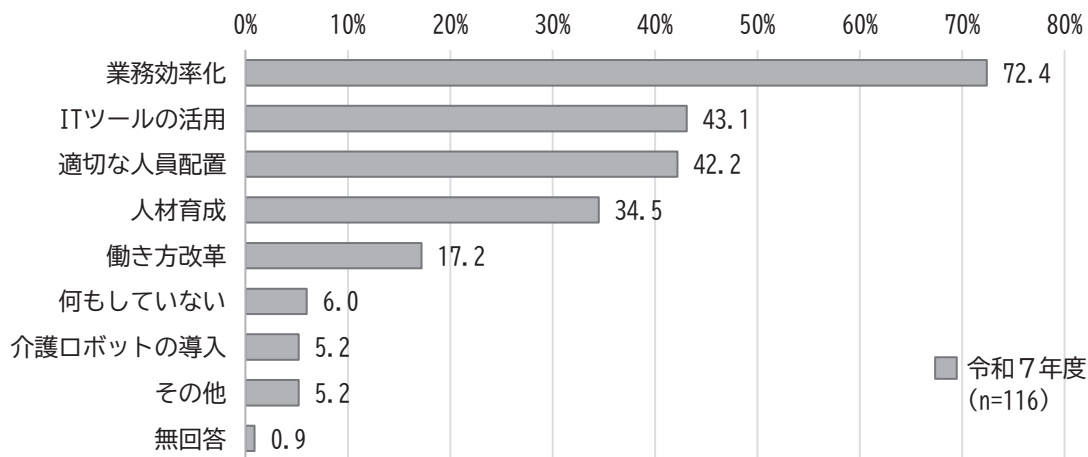
問9 事務作業の負担感はどの程度ですか。(単数回答)

「重い」が51.7%で最も高く、次いで、「とても重い」が25.0%、「どちらでもない」が21.6%となっている。



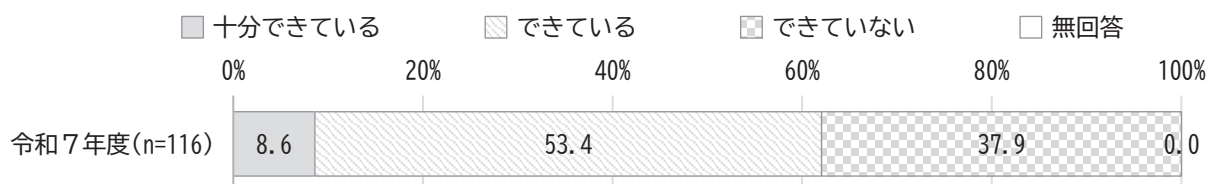
問 10 生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。（複数回答）

「業務効率化」が72.4%で最も高く、次いで、「ITツールの活用」が43.1%、「適切な人員配置」が42.2%となっている。



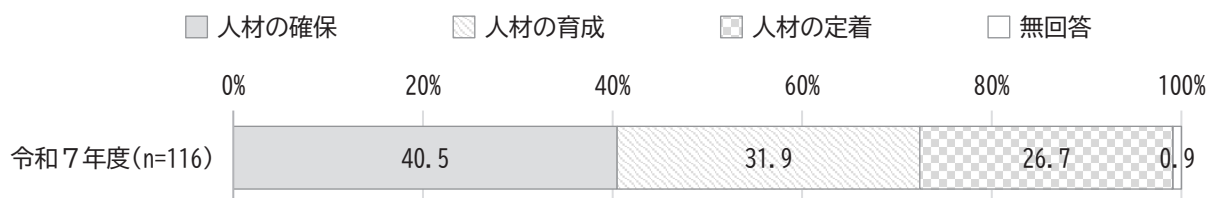
問 11 運営上に必要な人材の確保ができていますか。（単数回答）

「できている」が53.4%で最も高く、次いで、「できていない」が37.9%、「十分できている」が8.6%となっている。



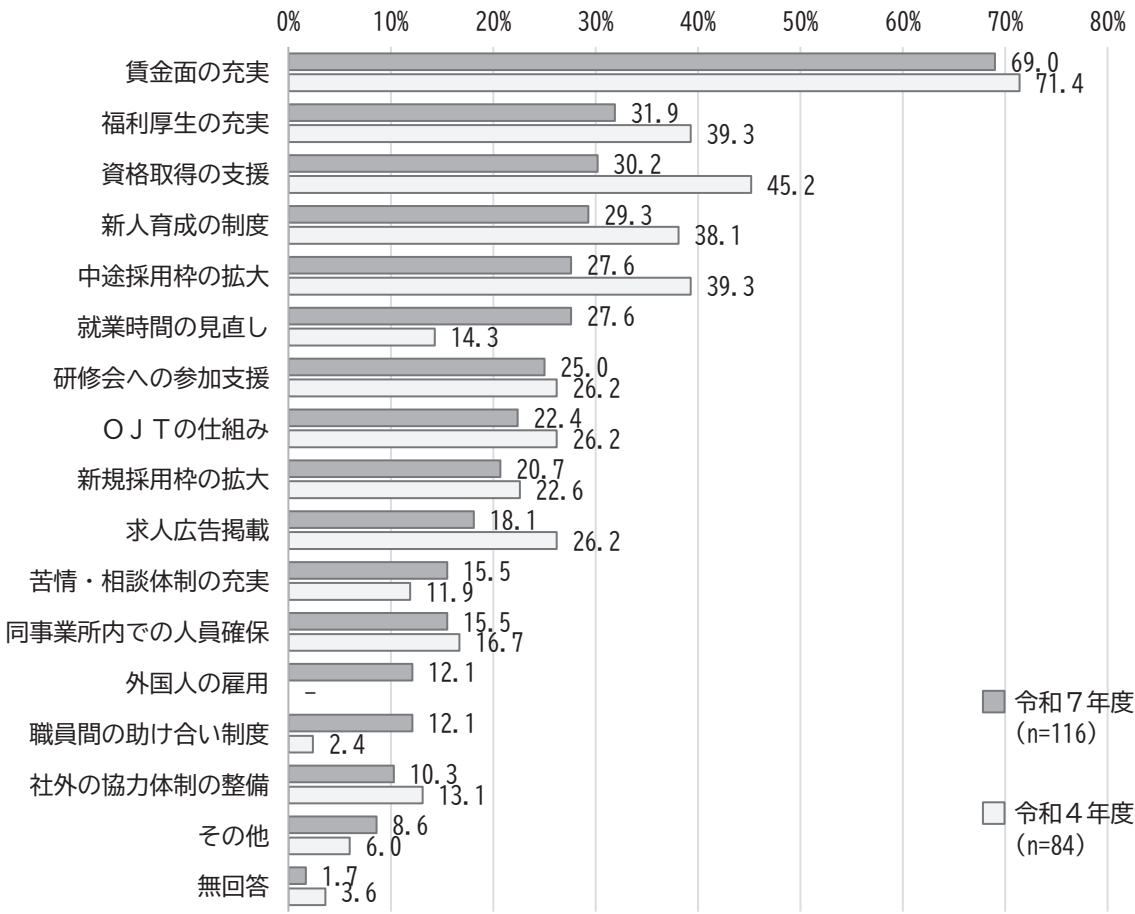
問 12 人材対策で力を入れる必要があるものは何かありますか。（単数回答）

「人材の確保」が40.5%で最も高く、次いで、「人材の育成」が31.9%、「人材の定着」が26.7%となっている。



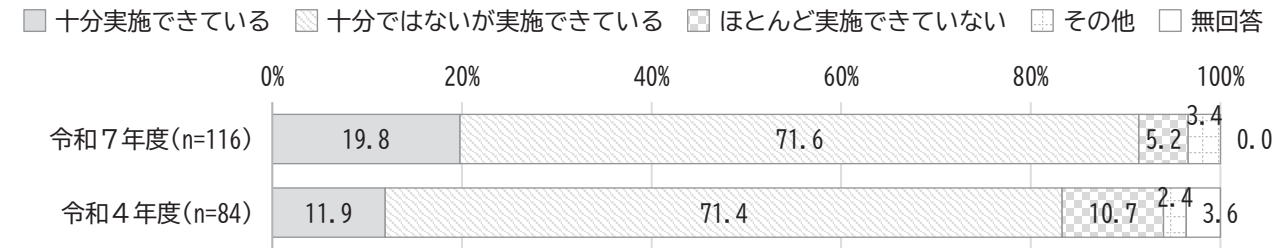
問 13 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「賃金面の充実」が69.0%で最も高く、次いで、「福利厚生面の充実」が31.9%、「資格取得の支援」が30.2%となっている。



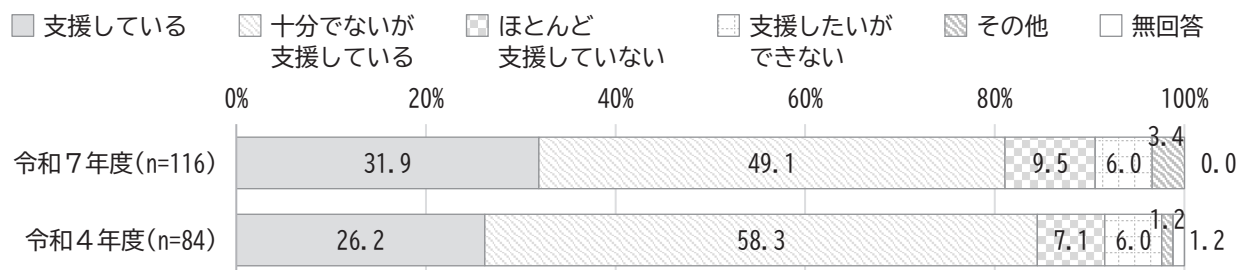
問 14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(単数回答)

「十分ではないが実施できている」が71.6%で最も高く、次いで、「十分実施できている」が19.8%、「ほとんど実施できていない」が5.2%となっている。



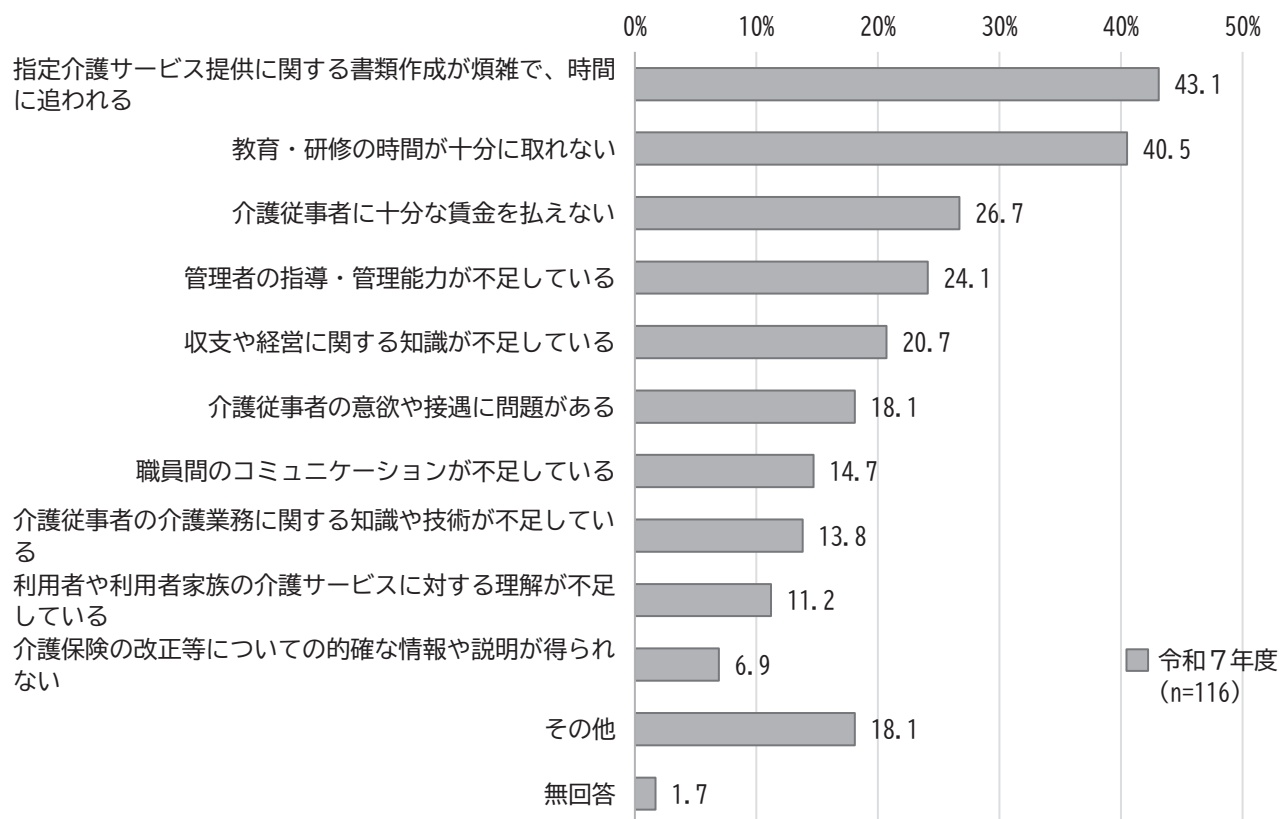
問 15 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(単数回答)

「十分でないが支援している」が49.1%で最も高く、次いで、「支援している」が31.9%、「ほとんど支援していない」が9.5%となっている。



問 16 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(複数回答)

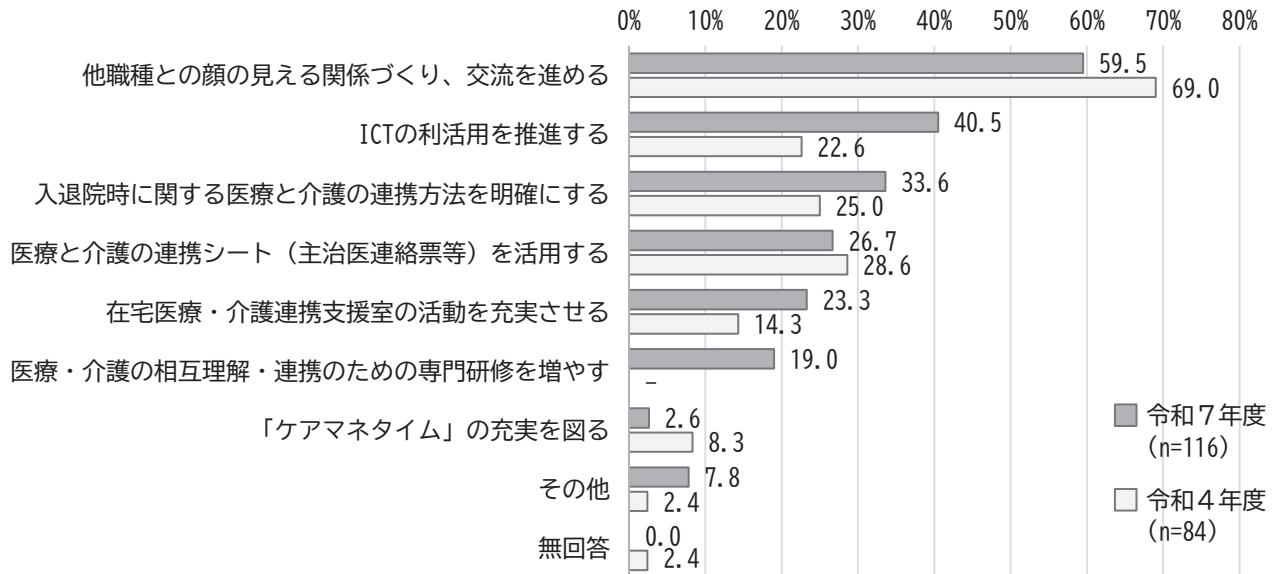
「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる」が43.1%で最も高く、次いで、「教育・研修の時間が十分に取れない」が40.5%、「介護従事者に十分な賃金を払えない」が26.7%となっている。



## 5. 医療と介護の連携について

問 17 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。（複数回答）

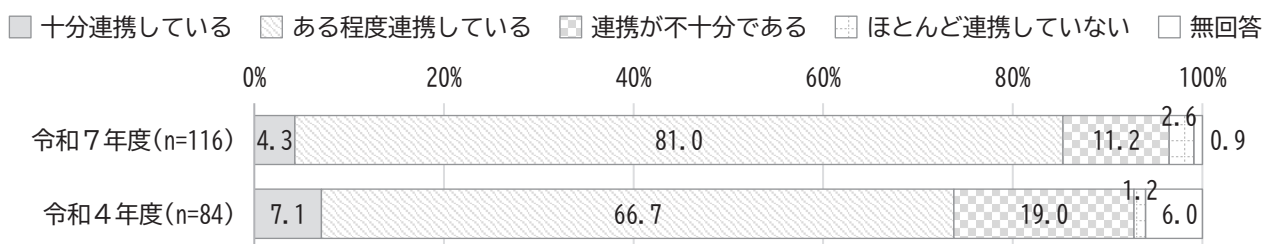
「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が59.5%で最も高く、次いで、「ICTの利活用を推進する」が40.5%、「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」が33.6%となっている。



※令和4年度は2つまで選択であった。

問 18 小金井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。（単数回答）

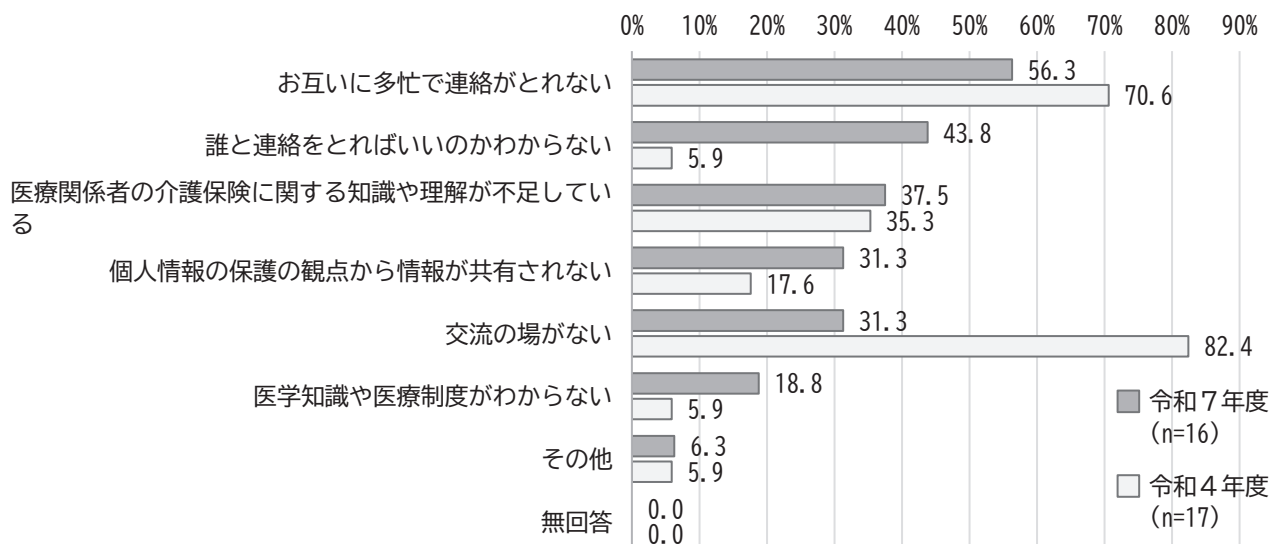
「ある程度連携している」が81.0%で最も高く、次いで、「連携が不十分である」が11.2%、「十分連携している」が4.3%となっている。



【問 18 で「連携が不十分である」「ほとんど連携していない」と回答した事業所】

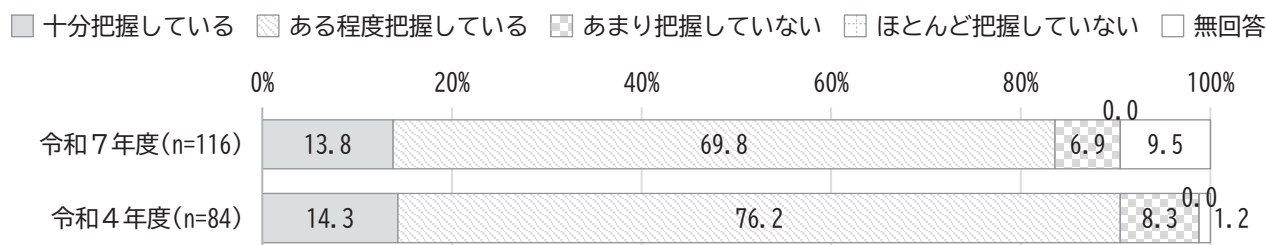
問 18-1 そのように考える理由は何ですか。(複数回答)

「お互いに多忙で連絡がとれない」が 56.3%で最も高く、次いで、「誰と連絡をとればいいのかかわからない」が 43.8%、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」が 37.5%となっている。



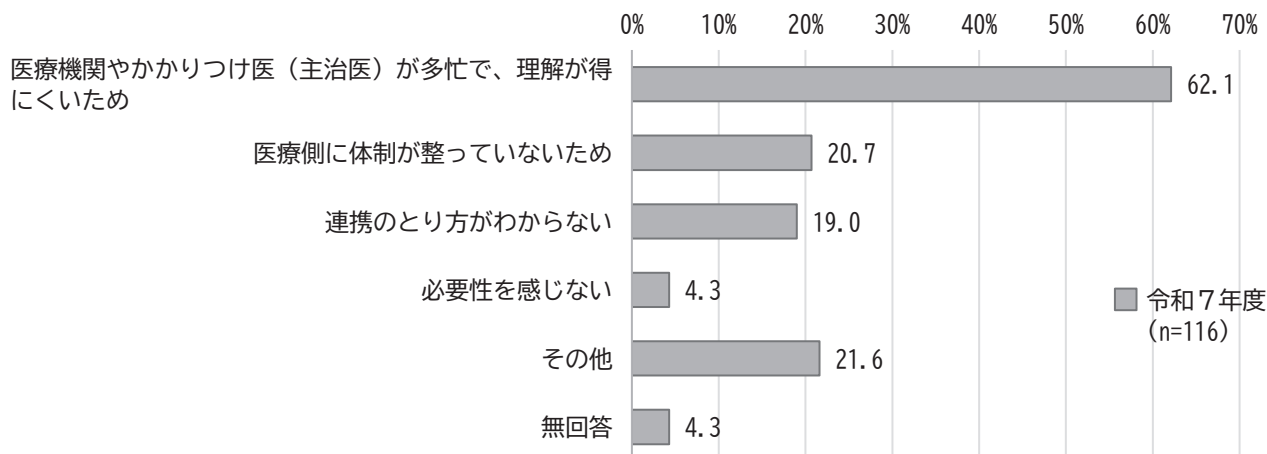
問 19 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(単数回答)

「ある程度把握している」が 69.8%で最も高く、次いで、「十分把握している」が 13.8%、「あまり把握していない」が 6.9%となっている。



問 20 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（複数回答）

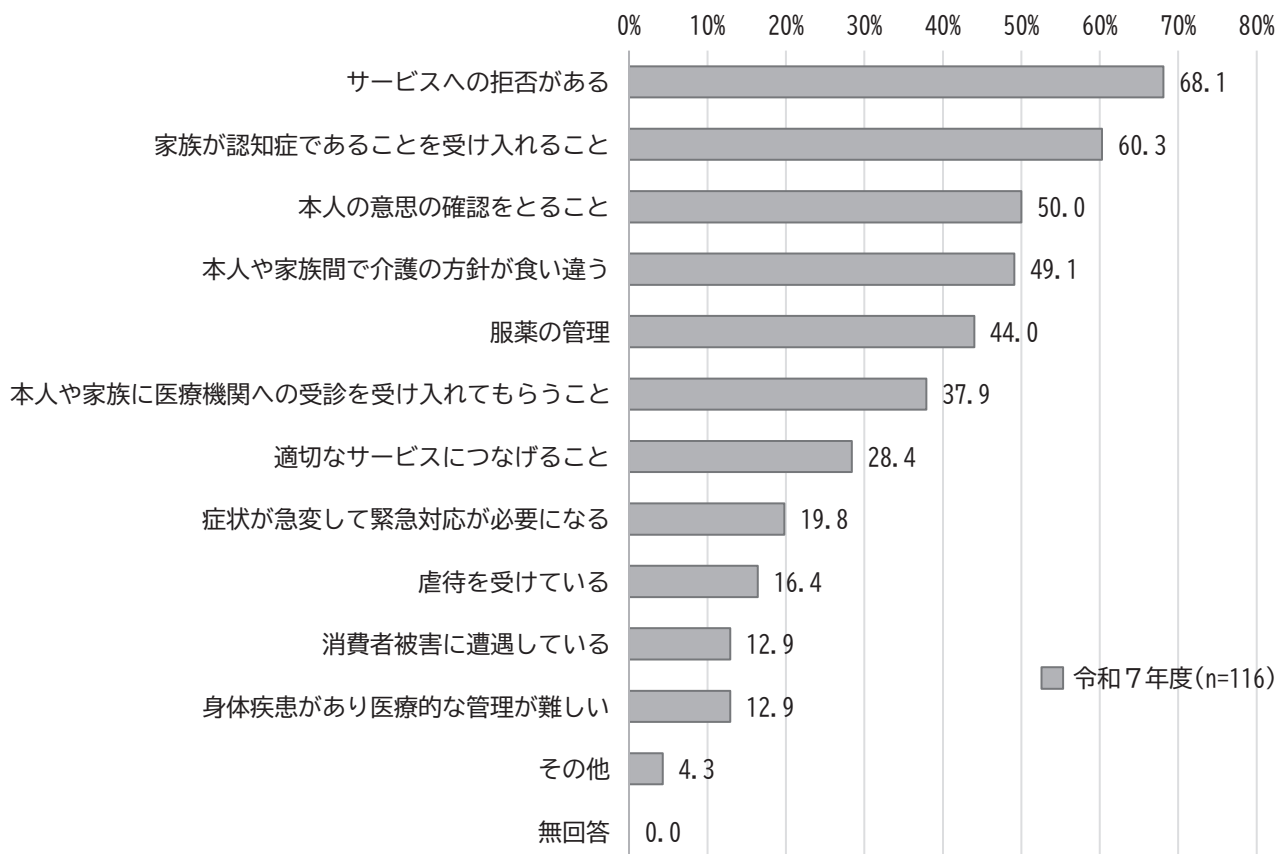
「医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくいいため」が62.1%で最も高く、次いで、「その他」が21.6%、「医療側に体制が整っていないため」が20.7%となっている。



## 6. 認知症の介護支援について

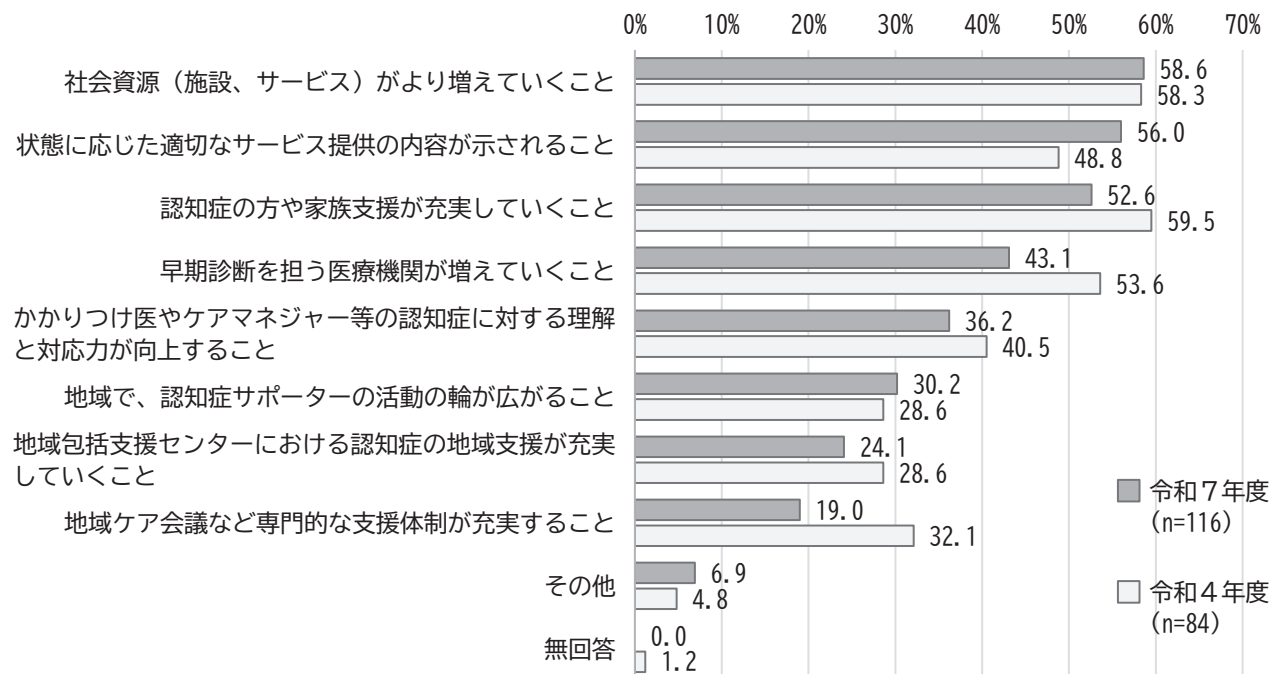
問 21 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。（複数回答）

「サービスへの拒否がある」が68.1%で最も高く、次いで、「家族が認知症であることを受け入れること」が60.3%、「本人の意思の確認をとること」が50.0%となっている。



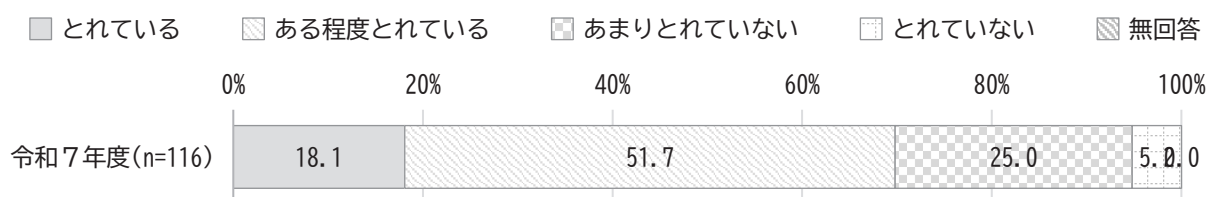
問 22 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(複数回答)

「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」が 58.6%で最も高く、次いで、「状態に応じた適切なサービス提供の内容が示されること」が 56.0%、「認知症の方や家族支援が充実していくこと」が 52.6%となっている。



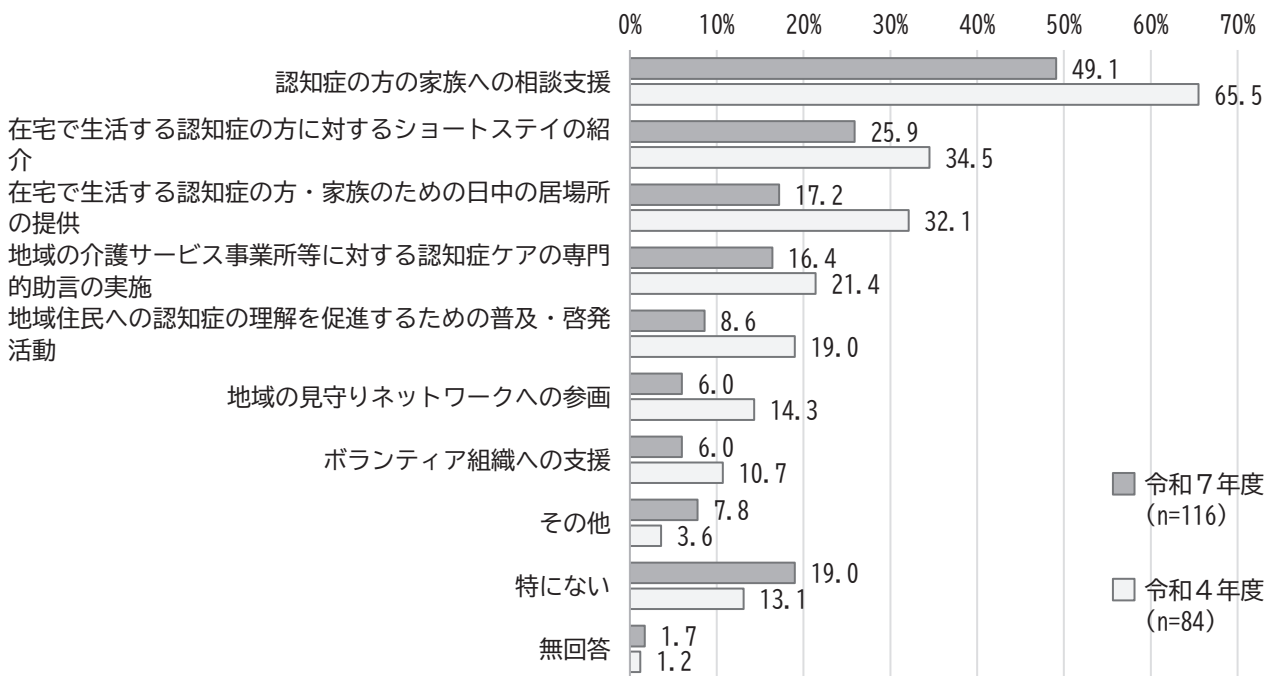
問 23 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(単数回答)

「ある程度とれている」が 51.7%で最も高く、次いで、「あまりとれていない」が 25.0%、「とれている」が 18.1%となっている。



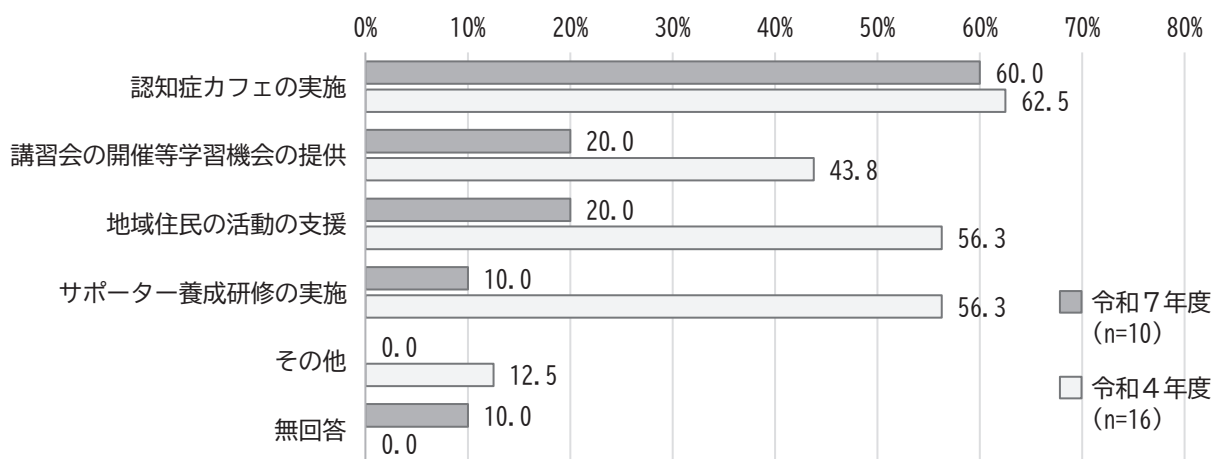
問 24 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(複数回答)

「認知症の方の家族への相談支援」が49.1%で最も高く、次いで、「在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介」が25.9%、「特にない」が19.0%となっている。



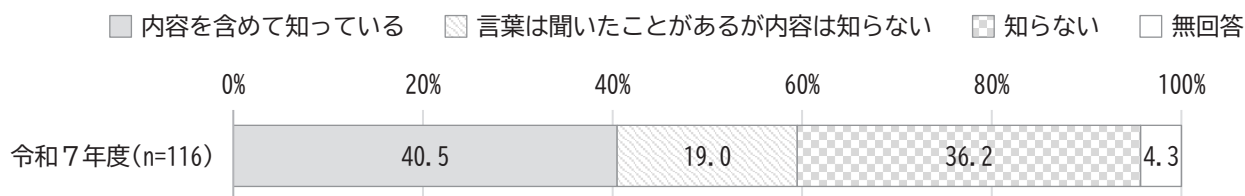
【問 24 で「地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と回答した事業所】  
問 24-1 具体的にどのような活動を行っていますか。(複数回答)

「認知症カフェの実施」が60.0%で最も高く、次いで、「講習会の開催等学習機会の提供」が20.0%、「地域住民の活動の支援」が20.0%となっている。



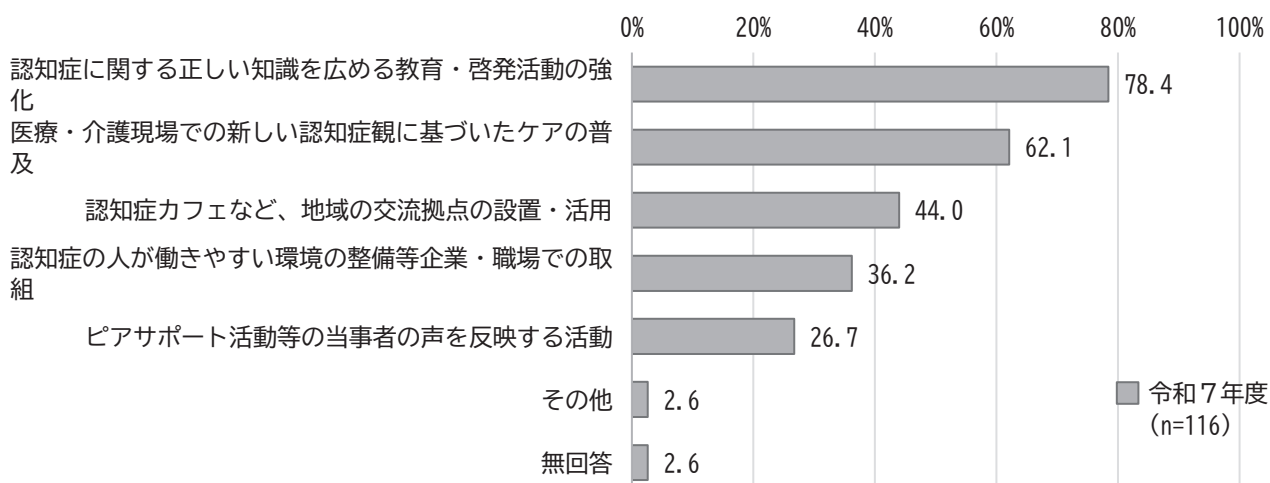
問 25 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(単数回答)

「内容を含めて知っている」が 40.5%で最も高く、次いで、「知らない」が 36.2%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 19.0%となっている。



問 26 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

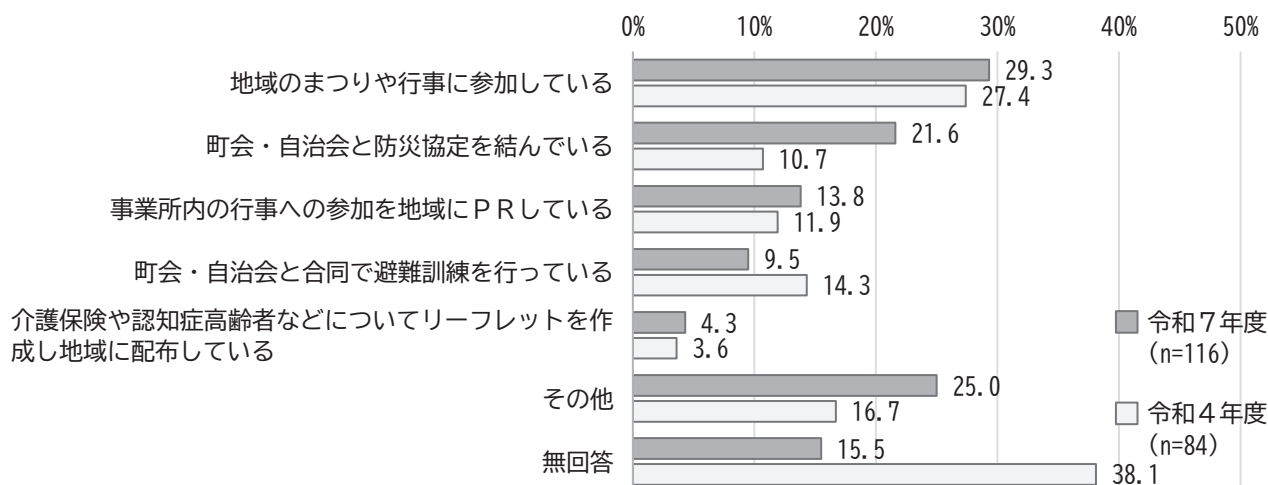
「認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化」が 78.4%で最も高く、次いで、「医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及」が 62.1%、「認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用」が 44.0%となっている。



## 7. 災害時の対応について

問 27 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。(複数回答)

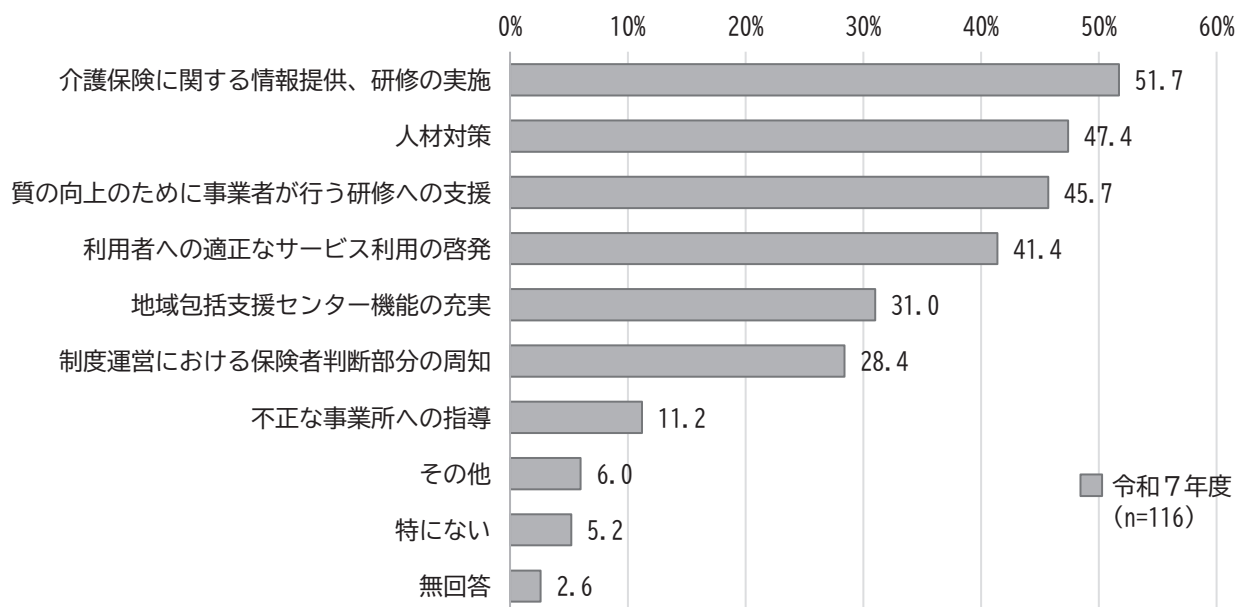
「地域のまつりや行事に参加している」が29.3%で最も高く、次いで、「その他」が25.0%、「町会・自治会と防災協定を結んでいる」が21.6%となっている。



## 8. その他・市への要望について

問 28 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(複数回答)

「介護保険に関する情報提供、研修の実施」が51.7%で最も高く、次いで、「人材対策」が47.4%、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」が45.7%となっている。



問 29 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※自由回答について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

◆介護保険制度・サービス (14 件)

■訪問介護事業の運営・質 (6 件)

- ・訪問介護事業を潰したいようにしか見えないやり方に憤りを感じています。
- ・訪問介護事業において、介護保険内・外で実施出来る範囲が分からず、判断に困る事が多い。以前は介護保険で行えなかった内容が行えるようになっていたりするので、市として訪問介護事業所向けに過去の事例も用いた上での保険適用内サービスの一覧を示して頂き、一体的な支援が市内事業所で提供出来る様にして欲しい。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。以前も何かに記入したことがありますが、介護事業所で事故が起きた際、具体的な内容を普及してほしいです。他の事業所の事故から自事業所での事故回避につながるヒントをもらえることがきっとあると思っています。
- ・昨年度訪問介護の単位数が引き下げられ、閉鎖する事業所が出ています。また、そもそも総合事業の単位数が低いために、株式会社の大手の訪問介護事業所は、収支が見合わず、受入れ控えをしている傾向にあります。社会福祉法人は地域貢献の一環として、困窮している方を受入れる一方で、人件費が年々上昇し、経営が逼迫している状況です。安定的なサービス提供が継続できる報酬設定にしていきたいと思います。
- ・ヘルパー報酬が低すぎる。総合事業の報酬アップ
- ・訪問介護事務所への支援をお願いします。ヘルパーが不足していると感じます。訪問看護事務所ばかりが増えていくように感じますが訪問介護事務所が減ってきているのでは？市民向けのヘルパー養成講座や研修費補助、就職支援などで改善できるのかどうかわかりませんが・・・。

■ケアマネ事業所の運営・質 (4 件)

- ・介護保険の利用している人は、ケアマネと通じて小金井市などの施策などお伝えする機会があるが、そうではない人たちが情報探す手立てが少ないように感じる。
- ・良いケアをおこなっていても、選ばれなければ淘汰される時代であり、認知症対応型通所介護施設にとっては非常に苦しい運営状況である。また、認知症対応型は利用単価も高く、利用できる方や家族も含めて限られているのも、利用が促進されない理由の一つであると感じる。コロナ禍以降、在宅で生活できるレベルのご利用者は入所が進んでいると感じており、軽度認知症（一般デイレベル）か重度（介護量が非常に多い）認知症の二極化されてしまっている。
- ・小金井市で自身で事業を展開して 10 数年。前に事業所を持っていた所には医療機関やリハビリ専門の医療機関まであった。当市にはほぼない。これによってケアマネはほぼ全て地域包括支援センターからの依頼によりケースが振り分けられている。自然にケアマネも利用者も何処か地域包括支援センターの言いなりになっている様子が伺える。認定調査を受託している中で、ミスマッチと思えるケースが散見されている。何と基準として地域包括支援センターはケアマネを紹介しているのか…？疑問に思う事がある。保険者として地域包括支援センターをどの様な位置づけで考えているのか？地域包括支援センターは公明正大にその方々に合うケアマネを紹介しようとしているのか？利用者保護の観点から地域包括支援センターへの指導を願いたい。
- ・給付係の方にはいつも優しく丁寧に利用者やケアマネに寄り添った対応をして頂き大変感謝しております。細かいことですが、負担割合証や更新申請書など介護保険関係や高齢福祉サービスの利用継続手続きなど早めにメールでお知らせ頂けると助かります。担当者が変わるといつもうまく行かなくなるので引き継ぎをお願い致します。コロナ以前には、毎年、介護福祉課、自立生活支援課、地域福祉課の分担表もメール配信されており、大変助かりましたが、今は難しいのでしょうか？民生委員さんやケアマネが、参加していた地域ケア会議がなくなったのか声が掛からず、地域の方との顔の見える交流の機会が少なくなり、大変残念に思います。是非再開してほしいです。

■居宅系サービスの充実・質の向上 (1 件)

- ・デイサービスのみで運営する事業所は極めて、運営がひっ迫している。小中規模の事業所は特に、人材不足から始まり設備・車両の老朽化を補うだけの収支を保つことが困難である。また、認知症対応型対象の利用者は利用も不安定であり、影響を受けやすい。

■介護保険制度・認定 (1 件)

- ・市役所内の横の繋がり連携を円滑にかつ臨機応変な対応に改善してもらいたい（例：介護保険係と認定係と包括支援係の連絡、地域福祉課と認定係の連絡等）。

■地域ケア会議・多職種連携 (1 件)

- ・地域ケア会議をもっと開催し、地域をまきこんだ施策を考えて欲しい。介護事業者だけでは無理ですし、住民の活動と介護事業者がいっしょに考え、とり組む場を作って欲しい。

<p>■生活支援（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社では、買い物代行、電球交換、庭の草取り等々、出来ることであれば、有料にはなりますが高齢者支援をさせていただきます。</li> </ul>
<p>◆行政への意見・提案（4件）</p>
<p>■情報提供・周知の工夫（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1事業所としての知識・技術については、ほどほど理解できてきたのかと主観的には認識しているが、私自身、小金井市として地域としての高齢者施策についての理解は非常に乏しいと言わざるを得ず、小介連での活動含め、今後ともご教示いただけますようお願い申し上げます。</li> <li>・市民向けの啓発、情報提供について期待しています。</li> </ul> <p>■行政体制・支援強化（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障がい者、育児などの在宅支援を行っていますが、制度、担当課の枠を超えた横断的な支援体制構築の必要性を感じています。現状では個人の支援（夫婦のいずれか、親子のいずれか等）にとどまっていますが、現場感覚的には個人の支援はもとより、世帯の支援という視点をもっていけないと、限りある人的資源を効率的に活用できないように思っています。（例えば「在宅支援事業」のような）それはともかく、いつも事業者に助け舟を出していただいております。</li> </ul> <p>■介護人材の育成・処遇改善（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括と市が一緒に研修なども実施して、方向性や意向の共有等をもう少しして活発な意見交換がほしい。</li> </ul>
<p>◆地域・社会参加・生きがい（2件）</p>
<p>■就労・働く機会（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者が活躍できる場を設ける。登下校時の子供の見守り、清掃作業など。</li> </ul> <p>■生きがい・役割づくり（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私（主宰者）とボランティアさんと利用者さんと、4、5、6人位のグループは、とてもよく、コミュニケーションがとれます。同世代なので、昔の”茶のみ友達”ができています。体操の方も大切ですが、歌、ゲーム、”なんでもありのしりとリゲーム”で認知症予防になっています。社会情勢、昔の話で言葉や、時代が急速に変わっていることも、同世代なので、気持ちがわかり合えて、楽しみになり、これが日常生活の意欲につながっていると実感しています。ご家族の為に食事、入浴で高齢者をあずかる通所も大切ですが、総合事業（趣味の）も応援していただけることを願っています。</li> </ul>
<p>◆生活課題・困りごと（2件）</p>
<p>■身元保証・独居・孤立（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に限らず、身寄りのない方の身元保証で苦心する事が増えております。施設入所を検討しても、身寄りがない場合は断られてしまう場合が多いです。後見人申し立てをする程でない判断力を有している場合は、完全に手詰まりとなってしまいます。身元保証に関する対策等あれば、ご教授頂きたいです。</li> <li>・緊急時など様々な場面で保証人や医療的な判断を求められるケースも多く、特に身寄りのない高齢者への支援拡充が急がれていると思います。</li> </ul>
<p>◆その他（1件）</p>
<p>■その他（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>